

## 令和4年度 学校評価 自己評価 (3学期)

## 1 学校の重点課題

- 基礎基本の定着と学年に応じた表現力(書いて,説明する力)を身に付けさせる学習指導法の工夫・改善
- 一校一改革の徹底指導と心を育む生徒指導の推進
- 個々の体力向上と生活リズムの確立を目指した保健指導(安全指導・給食指導を含む)の推進

## 2 課題と改善策

		具体的方策	評価	改善の方策等
学力向上	1	基礎基本を確実に定着	3.0	・WEB問題や過去問, 補充問題やタブレットの問題等の活用を繰り返し実施し, 定着を図る。 ・確実な基礎基本の定着を図るための家庭学習の内容の工夫と家庭との連携を図る。 ・発達段階に合わせた学習のしつけを全学級で指導の継続を行う。 ・1単位時間に自分の考えを書いたり, キーワードを確認する時間を設定する。
	2	学年に応じた表現力(説明する力)の育成	3.2	
	3	少人数・複式学級の指導法の工夫・改善, 個別指導	3.6	
	4	学んだことを活かす力(書く, 説明できる力)の定着	2.8	
	5	学習の躰(聞く姿勢・机上の整理・書く姿勢等)の定着	3.0	
	6	家庭学習の内容の充実と家庭学習時間の確保(学年×10+20分)	3.4	
生活指導	1	アサーショントレーニングやSSTを取り入れた指導	3.8	・土曜授業日のスマイルタイムで児童の実態に即して計画的なSSTを実施する。 ・児童一人一人の作品にコメントを記入したり, 定期的な掲示物の更新をしたりして教室環境の改善に努める。 ・継続的なアンケートや積極的な面談の実施, 日々の日記や観察からいじめの早期発見, 解消に努める。 ・児童との関わりで気付いたことや言葉の遣い方については, 報告連絡し, 職員間で連携を深め指導に当たる。 ・教児ともに図書室へ行き, 継続した読書活動を推進する。 ・毎時間ごとに姿勢を意識させる時間を設定し, 落ち着いて学習できる環境を整える。
	2	教室や廊下等の「学びの環境」の設定	3.7	
	3	いじめの発見につながるようなアンケートや個別面談等を実施と早期発見	4.0	
	4	褒める・叱るのバランスのよい指導と児童に寄り添う指導の実施	3.7	
	5	児童・保護者・学園への積極的な関わりや連携・面談等の実施	3.8	
	6	学年別目標冊数(低160, 中130, 高100)の確保に向けた読書指導を通じた心の教育の実施	4.0	
	7	一校一改革 3学期重点項目「礼儀作法」の指導	3.0	
保健指導・体力向上	1	むし歯の治療率100%, むし歯ゼロ, 生活リズムの定着	3.3	・むし歯ゼロを継続するために給食後のブラッシング指導を継続し, 家庭との連携に努める。 ・朝活動時間を活用した一校一運動「縄跳び」指導と仲良し運動を利用したチャレンジかごしまの結果登録(1月)を実施した。 ・休み時間の安全指導と定期的なKYT指導を行い, 危険予知能力を高める指導を実施する。 ・感染症対策のために, 活動後や給食前の手洗いをを行う。今後のWithコロナ生活の生活様式を検討する。
	2	姿勢や挙手の仕方についての積極的指導と改善	3.3	
	3	一校一運動「縄跳び」やチャレンジかごしまへの積極的取組	3.7	
	4	校内外の事故防止をめざした安全指導, KYT指導	3.5	
	5	安全点検を定期的実施し, 修繕等の必要な箇所については適切且つ早急に対処しているか。	3.8	
	6	給食の準備や片付け, 食事のマナー等の給食指導	3.8	

## 3 来年度に向けての取組

- テーマ研修の研究の視点に基づいた検証授業を通して「運動好きな皆与志っ子」をめざして, 全学級, 1単位時間の運動量確保の研修に取り組む。
- 一校一改革「あいさつ」と一事徹底事項「①姿勢②廊下歩行③はきもの」への取組を通して学習のしつけに取り組んでいく。
- 定期的なSSTと機会を捉えた教育相談を実施することで, 思いやりや自尊感情のもてる子供を育てていく。
- 一校一運動「一輪車」(なわとび)への取組を継続し体力の向上を図り, 感染症予防にも積極的に取り組んでいく。